

## 平成 22 年度 定期総会議事録

日 時 : 平成 22 年 6 月 12 日 (土) 16 時～17 時 30 分

場 所 : RIC ふれあい会館

出席者数 : 28 名 (内委任状 2 名)

来 賓 : 神戸市みなと総局 3 名 東灘区役所 3 名 コンサルタント 1 名

配布資料 : ①平成 22 年度定期総会議事次第

②平成 21 年度活動報告

③平成 21 年度収支決算書

④平成 22 年度活動計画案

⑤平成 22 年度収支予算案

⑥六甲アイランドまちづくり協議会組織

開会 児島事務局長が開会宣言と役員紹介

開会挨拶 高寺委員長が「住民を増やそう、景観環境を守ろう、まちを元気にしよう」の目標にむけ平成 21 年度に引き続き、今年も現況調査と研究を重ね、活発な諸提案を行って行くと挨拶。

来賓挨拶 来賓の神戸市みなと総局 3 名、東灘区役所まちづくり課 3 名が紹介された後区役所まちづくり課藤林主幹より、「六甲アイランドは美しい景観が守られており、ワーク・ライフ・バランス推進モデル地域にも指定されている」と挨拶を受ける。

議長選出 児島事務局長より出田副委員長の指名が有り拍手多数で選任

### 議案審議

#### 第 1 号議案 平成 21 年度活動報告

高寺委員長が議案書に基づき活動概況、活動経緯を説明した。

- (1) 規約改正を行うとともに新執行部体制で活動を開始したこと。
- (2) 景観形成計画や地区計画の事前勉強をしたのち街角ウォッチング実施、ワークショップ形式で課題を抽出。
- (3) その課題を更に検討を加えて 22 年度の活動目標としたこと。
- (4) 六甲アイランド基金助成事業に応募し、助成を受けたこと。

#### 第 2 号議案 平成 21 年度収支決算報告及び監査報告

藤原会計が 21 年度収支計算書と貸借対照表により会計報告した。

予算 303,372 円 実績 248,208 円

菅監事より監査の結果会計処理は適正であったと報告された。

議長による採決が行われ、第1号議案及び第2号議案は、拍手多数で承認された。

### 第3号議案 平成22年度活動計画案

高寺委員長が資料に基づき活動目標、活動方針、活動方法を説明した。

#### ◇当面の活動目標

まちづくり協議会の3つの目標の実現に向けその具体的方策を検討すると共に、全住民が力を出し合える仕組みづくりを模索する

#### ◇活動方針

- ①街角広場、街区内の公園を地区施設に指定を促す提案
- ②小磯美術館・テニスコート周辺のゾーンに、住宅(集合住宅を含む)の開発が行うことできない地区の指定を促す提案
- ③文レク地区Bの南北軸見通確保
- ④街路に愛称を付けることの呼びかけと企画推進
- ⑤その他、街角ウォッチングから抽出された課題の深耕

#### ◇活動の方法

- ①広報の充実、新委員の公募、島内各種団体との連携強化
- ②平成20年のアンケート結果の活用、街角ウォッチング課題への取り組み
- ③行政とも密なる連携を行い、諸提案の実施
- ④組織運営グループ、渉外広報グループ、調査研究グループの活動推進

説明の後、質問が3件あり委員長と副委員長が回答。{別記 質問1、2、3}  
その後 拍手多数で承認された。

### 第4号議案 平成22年度収支予算案

児島事務局長が予算案を説明

予算案金額 430,982 円 寄付金を今年度も募ります

議長による採決が行われ、第3号議案及び第4号議案は、拍手多数で承認された。

### その他

#### まちづくり協議会への提言

##### ■ 六甲アイランド CITY 自治会 北岡会長：

私自身まちづくり協議会に2度ボランティア参加しました。  
タウンウォッチングも体験し新しい視点で街づくり活動に取り組んでおられることを知りました。街の発展を促す住民参加の活動という点でも、自治会活動と共通しており、今後自治会としても積極的に「まちづくり協議会」活動を支援していきます。

■ W4 若田委員：

先日「“輝く私” 神戸 RIC ステーション」のグランドオープン記念講演が神戸ベイシェラトン&タワーズで開催され参加しました。働く女性、まして子育てしながら働く女性の声は、今後のまちづくりに絶対必要だと実感しました。ワーク・ライフ・バランス推進モデル地域でもある六甲アイランドに、NPO 法人主催の地域カウセリングステーション日本第 1 号が開設された事は我が街六甲アイの特徴でもあります。地域活動の広がりの一環としてまちづくり協議会も協力・連携して頂きたいと思えます。

閉会 出田議長が閉会宣言

追記

第 3 号議案に関する質問と回答

質問 1： 街の通りに名前を付ける件 すでにまちづくり当初には桜の道、春の道、夏の道、秋の道などの名前が付いているのに更に必要か？

W4 山本委員

長谷川副委員長が回答

必要な理由：

①街区の呼称と住居表示との間に齟齬があり、

日常生活の中で所在地のイメージが浮かんでこず不便な点がある。

通りに名前を付けることによりその不便さを解消したい。

②景観形成計画の中に通りや街角に名前を付けることが提案されているが、20年経っても行われていない。

実施に当たっては、六甲アイランド基金から助成金を受けることとなりますが、この活動はまちづくり協議会の単独活動とは考えていません。他の団体（自治会、地域振興会、業商連絡会、婦人会、学校など）島をあげての協力で進めるべきと考えています。初年度の助成金は 10 万円であり、実務作業に踏み込むのは難しいので、これから方策について検討しますが手始めは景観形成計画の内容を六甲アイランドに関係する人達が知って、共感してもらうところから始めたいと考えています。実現するには多くの活動資金と数年の時間がかかると考えています。

質問 2： 広く参加を呼び掛け活動の輪を広げ安心して住める街にするためにどう取り組んでいくのか？ W20 原田委員

